

㊦ (小計 57点)

問一(12点) 紫のドレスはメイドが、赤いドレスはグレイスが用意しようとしている。二人は、ラムゼイ氏の気を引くために百貨店の感謝祭にそのドレスを着ていこうとしているのである。

問二(15点) 感謝祭の前夜は、紫色のドレスを着てディナー・パーティーに参加することへの期待と喜びの気持ちでいっぱいだったが、へや代が払えないグレイスに自分のドレス代を貸したことで、紫のドレスを着てディナーに行けなくなつたため、あきらめの気持ちになった。

問三(6点) おかみさんがグレイスを追い出そうとさわいでいるので、家中がいやなふんい気になっているということ。

問四(12点)

グレイス(6点)

(解答例1) 払わなければならないへや代をドレスを買うことにあててしまうなど、先のことを考えない軽はくな人物。

(解答例2) ドレスが間に合わなかったメイドの気持ちを思いやる事が出来ず、自分のドレスを見せびらかしに来るところから、無神経な人物。

シュレーゲル氏(6点)

(解答例1) メイダのドレスに対する思いを知っていたので「お金は後で良い」と言つてドレスをわたしたことから、人情味あふれる優しい人物。

問五(12点) お金持ちのおじょうさんは何でも手に入れることが出来るので、苦勞してドレスを手に入れたメイドの喜びがわからないということ。

㊦ (小計 33点)

問一(4点) 労働時間を減らしたということ。

問二(6点) 宴会のごちそうであるブタの消費量が増え、ブタが不足するから。

問三(15点) 石斧のころは夫が妻に石斧を貸すだけだったので、夫は常に妻の上位にあつたのに対し、鉄の斧は妻が持つこともあり、妻が夫に鉄斧を貸すような事態も生じたため、妻が上位に立つこともあつたから。

問四(8点) 浮いた時間に休むことは、なまけなどではなく、より豊かな空想力や構想力を養うことにつながるから。

㊦ (小計 10点)

(2点×5) (1) 精製

(2) 保障

(3) 裁量

(4) 規律

(5) 副作用